

市町村名 与那国町

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	ウブドゥマイ浜観光地遊歩道整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-(ア)
担当部署名	総務財政課 交流推進班	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				観光リゾート産業の振興
				Ⅲ-1-(1)

事業内容 利便性と安全性が確保された観光地を提供し、観光客等が安心して利用できる環境を整備するため、現在未整備のままであるウブドゥマイ浜へのアクセス道路の整備を実施する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	100,000	0			
	(b) 予算現額	100,000	0			
	(c) 増減額 (b-a)	0	0			
	(d) 繰越額	0	100,000			
	A. 計 (b+d)	100,000	100,000			
	B. 執行済額	0	7,884			
	うち交付金充当額	0	6,307			
	次年度繰越額	100,000	0			
	執行率 (%) (B/A)	0.0%	7.9%			
	予算の状況の説明	・測量設計委託業務については、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・整備工事が執行できなかった理由については、入札を2度実施したがいずれも不調となり年度内の工事執行が困難となり多額の減額となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
ウブドゥマイ浜観光地遊歩道の整備	目標	(測量設計委託業務・道路整備工事)	()	()	()
	実績	測量設計委託業務/道路整備工事未完了			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	平成27年度に繰越して測量設計委託業務を実施した。道路工事については、入札を2回実施したがいずれも不調となり年度内の工事完了の執行が困難となり実施できなかった。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	平成29年度
			ウブドゥマイ浜観光地遊歩道整備工事の完了	目標 () ()	()	()
		実績	道路整備工事未完了			
		目標	() ()	()	()	()
進捗状況説明	測量設計委託業務は完了したが、道路整備工事については、入札を2回実施したがいずれも不調となり年度内の工事完了の執行が困難となり実施できなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・本町における観光振興を図る上で本町が有する観光資源の適切な整備に取り組んでいく必要がある。	・当初計画の中では、設計業務までしか完了することが出来なかった。事業用地の取得は出来たが、工事の発注に不要の時間を要した。
	・道路整備工事は実施できなかったが、観光客等への利便性や安全性を確保するためにも整備は必要である。	・事業執行にあたり、外部環境的な要因による影響は、確かに大きく入札執行が不調となる自体に至ってしまったが、事業内容の検討の不十分な
	・自衛隊関係による工事等その他の工事が地域的に集中した為。2回目の入札に至っては8社中7社が辞退したため入札不調となり年度内の執行が困難となり実施できなかった。	ことが、全体的な事業の遅れに繋がってしまった。完成イメージが不鮮明なことで、工事の課題が見えていなかったと思われる。
	・環境的な原因だけでなく、急勾配での道路構造の安全性を検討した際の問題等課題が多いため事業自体の再検討も必要と思われる。	・事業目的を果たすためにも、改めて事業全体を検討し直し、事業の目的と現場環境の課題を適切に判断することが必要と思われる。

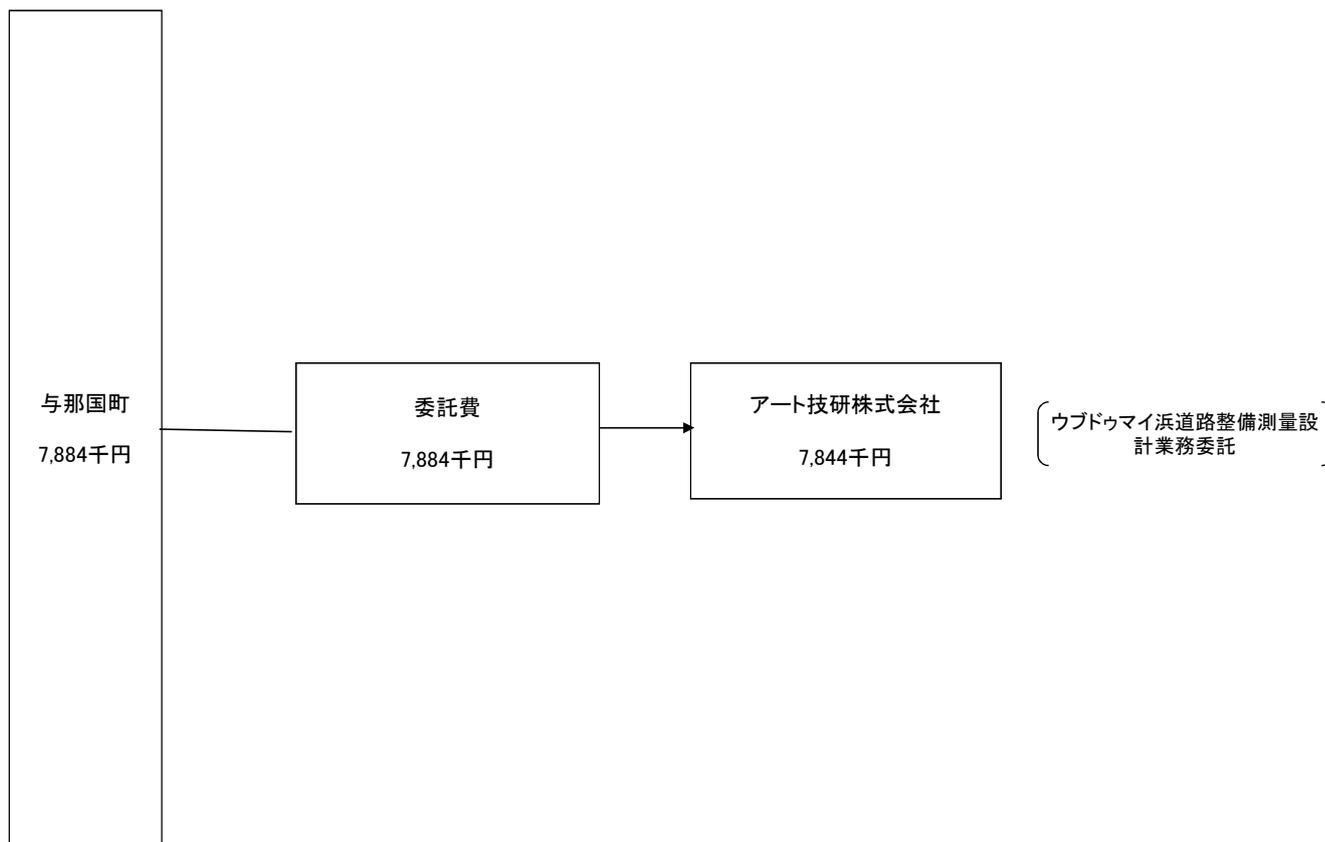
今後の取組み方針

- ・観光客等への利便性、安全性を確保し、本町が保有する観光資源を活用した受入体制の充実を図るためにも、改めて、事業全体の再検討を実施する。
- ・道路を整備するにあたり、現場環境の課題を明確にし実施可能な道路設計を再度、検討する。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

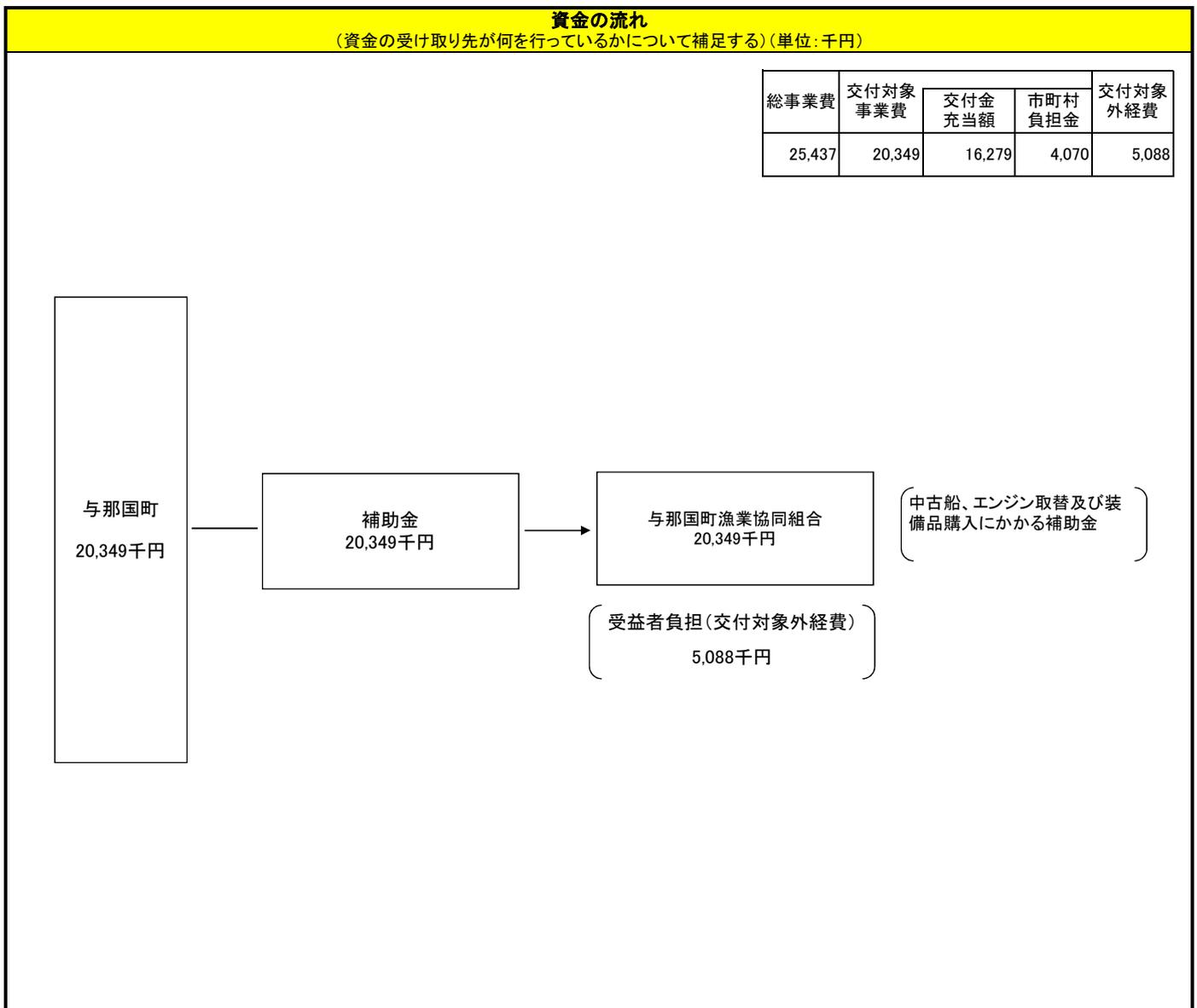
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,884	7,884	6,307	1,577	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△予算規模については当初目的の実績が達成出来ていないことから、計画作成の行程に改善の必要性があった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		与那国町					
平成26年度（繰越）沖縄振興特別推進市町村交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤ 与那国町漁業担い手育成プラン実施事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-エ 農林漁業者の担い手の育成・確保及び経営安定対策の強化		
	担当部課名	産業振興課 農林水産班	事業実施（予定）年度	平成26～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	<p>小規模離島である与那国町では漁業は重要な産業の一つである。しかし、近年漁業従事者の高齢化が進むとともに、過疎化も進んでいることから、島内外から次世代の担い手を積極的に育成することが極めて重要である。そのために、与那国町の漁業従事者団体に補助を行い、新規・既存漁業者に漁業設備の貸出をすることで漁業経営の安定化を図る。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	29年度	
		(a) 当初予算額	42,048	—			
	(b) 予算現額	42,048	—				
	(c) 増減額 (b-a)	0	—				
	(d) 繰越額	—	30,070				
	A. 計 (b+d)	42,048	30,070				
	B. 執行済額	11,977	25,437				
	うち交付金充当額	9,581	16,279				
	次年度繰越額	30,070	—				
	執行率（%）(B/A)	28.5%	84.6%				
予算の状況の説明	<p>当初予定していた漁業従事者が次年度以降の事業導入を申し出たことにより、事業費の残額が生じた。また、漁船及びエンジンが受注生産となっていることから、復興需要により生産が追い付かず、不測の日数を要したことから、年度内の完了が困難となり繰越となった。</p>						
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入に対し補助する。	目標	(漁船等の購入及び貸付の実施)	()	()	()	
		実績	漁船等の購入及び貸付の実施				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	<p>漁船等の購入及び貸付について、中古船購入(3名)、エンジン載せ替え(1名)、装備品導入(1名)の貸付を実施し、漁業従事者の漁業経営の安定化を図った。</p>						
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
	漁業担い手新規就業者増：1人	目標	()	(1人)	()	()	()
		実績		1人			
	既存漁業者従事者数の維持確保：32人	目標	()	(32人)	()	()	()
		実績		31人			
進捗状況説明	<p>平成27年度の担い手新規就業者増1人に対し1人の新規就業者が増加した。また、既存漁業者従事者数32人に対し31人と減少しているが不慮の事故による減少である。今後の推移としてIUターン者も見込まれており、本事業を継続的に推進することで新規就業者及び既存漁業従事者の維持確保を図り漁業経営の安定化に繋がる。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・与那国町での漁業は重要な産業の一つであるが、近年漁業従事者の高齢化が進み、担い手の積極的な育成が極めて重要となっている。そのことから漁業従事者団体に補助を行い、新規・既存漁業者に漁業設備の貸出をすることで漁業経営の安定化を図る必要がある。 ・県外及び県内から新規就業のため多くの問合せ等を受けているが、受け入れのための住宅の確保が困難となっており今後の課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業で漁業従事者団体に補助を行い、漁業設備の貸出を継続して行くには、適正な維持管理が必要である。また、新規・既存漁業者の確保を図る上で、住宅の整備、確保を早急に進める必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付け購入に対し補助を実施していくことにより、漁業者の負担軽減、所得増加及び経営安定の向上を図り、水産業の活性化と島の活力を維持・推進すると共に、既存漁業者、新規就業者及び担い手の育成へ繋げていく。</p>		



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金の支出先については、当事業内容により精通していることから妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○与那国町漁業担い手育成プラン実施事業交付金申請及び実績報告を確認の上で決定しており、妥当であったと考えています。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については事業費の20%負担しており、妥当であったと考えています。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。